News Release

2026年11月27日

各位

株式会社イオレ

# イオレが運営する暗号資産レンディングサービス「らくらくちょコイン」、法人顧客から200BTCの大口借受けが決定、貸借残高は73億円を突破

～2ヶ月足らずで13億円超の増加、法人顧客の増加により運用資産規模が大幅に拡大～

株式会社イオレ（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：瀧野 諭吾、以下イオレ）は、イオレの提供する暗号資産レンディングサービス「らくらくちょコイン」において、この度、新たに暗号資産「ビットコイン（BTC）」の大口借受（200BTC）が決定し、2026年11月26日時点で貸借残高が73億円を突破したことをお知らせします（※1）。イオレが、2027年3月期第2四半期（中間期）決算説明補足資料にて開示している2026年9月末時点の貸借残高約60億円から、2ヶ月足らずで13億円の増加となりました。

※1 貸借残高は、らくらくちょコインで利用者から借り受けた暗号資産・電子決済手段の円換算額




## ■ 大口借受けの決定と貸借残高73億円突破の背景

イオレのオンチェーン金融事業では、金融インフラの構築を目指す第一弾として「らくらくちょコイン」を展開し、個人投資家から法人顧客まで幅広い暗号資産保有者の資産運用ニーズに応えてきました。

2026年1月のサービス開始以降、貸借残高は着実に伸長し、2026年9月末時点で約60億円規模に

達しました。その後、法人顧客からの借受けが増加したことに加え、このたび新たに200BTCの大口借受けが決定し、貸借残高は73億円を突破しました。

なお、暗号資産価格は2026年10月に入ってから下落基調となり、ビットコイン価格は2026年9月末から11月25日時点までに約350万円（約27%）下落しています（※2）。貸借資産の円換算額が目減りする市況下にあっても貸借残高が大きく伸びたことは、お客様からの借受けが着実に増加していることの表れと考えています。

また、今回の法人顧客からの大口借受けは、「らくらくちょコイン」の利率の魅力に加え、上場企業が運営するサービスとしての透明性やリスク管理体制を評価いただいた結果であると考えています。

※2 CoinMarketCapにおけるビットコインの日本円換算の終値をもとに当社算出、イオレ調べ

**■ 今後の展望**

今回の運用資産規模の大幅増加を原動力に、運用体制のさらなる強化と収益力の向上を図り、魅力ある貸借料率でのサービスを安定的に提供できるよう努めるとともに、「らくらくちょコイン」のさらなる利用拡大を目指します。

また、「らくらくちょコイン」では、新レンディングプランとして、AIデータセンターの設備投資や最新鋭GPUの調達を支える新たな取り組み「ちょコイン for AIデータセンター（仮称）」を、2027年3月までに提供開始する予定であることを発表しています。

イオレは、今後も金融とAIインフラのシナジーを最大限に発揮させることで、強固な収益基盤の構築と、持続可能なAI社会を支える基盤づくりを両輪で加速させてまいります。

| | |
|---|---|
| 会社名 | 株式会社イオレ |
| 本社所在地 | 〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル 4F |
| 代表者 | 代表取締役社長 兼 CEO　瀧野 諭吾 |
| 設立 | 2001年4月25日 |
| 資本金 | 32億3,253万円 ※2026年9月30日時点 |
| 従業員数 | 81名 ※2026年9月30日時点 |
| 上場市場 | 東京証券取引所グロース市場（証券コード：2334） |
| 事業内容 | ・AIインフラストラクチャー事業<br>- GPUサーバー販売<br>- AIデータセンター開発・開発支援・投資<br>-ネオクラウド事業 |

| | |
|---|---|
| | ・AIUI事業<br>- HR Tech<br>- Ad Tech<br>- 次世代AIメディア<br>など<br>・オンチェーン金融事業<br>- 暗号資産の保有、運用、決済サービス等の金融基盤提供 |
| URL | https://www.eole.co.jp/ |

本件に関するお問合せ
株式会社イオレ　Tel: 050-5799-9400　Mail:press@eole.co.jp

他社登録商標・商標等、記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。